

『人権学習』風景

令和元年12月5日

【人権学習とは】

12月5日(木)に全校生徒を対象に志布志市人権擁護委員の方々を講師にお招きし、『人権学習』を実施しました。

本校では、『人権学習』会を実施することで、学校全体の人権意識を高め、人にやさしい魅力ある学校づくりを目指しています。



今回の人権学習で改めて自分の行動や言動を振り返ることができ、私も差別をしていた部分もあったのかなと思いました。自分はふざけているつもりでも相手が嫌ならいじめになると聞いて、自分に責任をもって過ごすことが大切なんだと感じました。



私は、今日の人権学習を通して、人権侵害は身近にあると思いました。初め志布志中には「いじめなどない」と手を挙げました。しかし、ビデオを見てから「たくさんあるのではないか」と思いました。からかうことは、からかわれている方には、ものすごく嫌だと思います。SNSでも今もこれからも自分の言葉に責任をもって過ごしたいと思いました。



今回の「人権学習」を通して思ったことは、自分が軽い気持ちで言った言葉でも、相手はとも嫌な気持ちになってしまうことがあるので、しっかり相手の立場も考えて発言や行動をしようと思いました。私は、SNSで悪口を書かれている人を見たことがあるので、使い方を理解しようと思いました。



今日の「人権学習」の動画や話を聞いて、これまでの自分の行動を振り返る事ができました。自分と人との違いを見つけ馬鹿にするのではなく、違いを受け入れ、共通点を知り、一つ一つの行動を相手の気持ちを考えながら行動しようと思いました。



人権には、10以上の意味と権利があることにびっくりしました。「志布志中もいつか差別やいじめはなくなるのかな」と改めて感じました。何も理由なしに見た目で人を判断したり、理由もなく悪口を言ったり、無視したりするのは、周りの人にも嫌な雰囲気にあたえ、そして、言われた人、された人にも害を与えることを実感しました。例えば、遊び半分でもやっていけないことはやっていけない。責任を持つ、いつか自分に返ってくる等しっかり意識してやらないようにしたいと思います。友だちは、生活の中でとても大事な存在と言う事を忘れずに頑張りたいです。

